

後を絶たない年金問題

不安覚える支給漏れや情報漏えい

年金記録問題が大きく
報じられたのは2007年

年に遡ります。約5千万件ともいわれる膨大なデータが間違っているさ

れた。起きた原因としては、当時の社会保険

行政が基礎年金番号のデータを統合する作業を始め

たところ、管理しているのは基礎年金番号と紐づいていない番号がある

ことが判明し、大きな社会現象となりました。

国民年金の加入促進をするはずの広告に起用されたタレントや、国會議員にまで未加入の時期があつたことも大きな話題

り、その後、記録についても影響が出たことを思ひ出します。

そこで、記録については解決してきましたが、年金に関する事故はいくつも起っています。マイナンバーと基礎年金番号

を紐づけようとした際には、最近では2月に発生した年金の支給漏れ、さ

らに3月発覚した情報漏れなど、年金に関する事故は枚挙にいとまが

ないほどです。年金を受給する方からしても、自分自身の年金がどうなってしま

うのが不安を抱えるのも当然のことといえます。

こういった不幸事が起きた後の対応方法や様々な情報がある中、年金を受け取る高齢者ほど、年金サービスについて考えてみ

るよう情報を要されるのが最適なのが、受け取る高齢者ほど、年金サービスについて考えてみ

る年金サービスは、その方のこれまでの年金

今が旬の情報提供を 公的保険アドバイザーからの情報特旬便!

(一社)公的保険アドバイザー協会 福島 紀夫

<https://sia.or.jp/>



~第13回~

高齢者に対する年金サービスは適切か?一方通行にならない情報発信を!!

社会保険庁の体制が災いしたことも大きな要因で、年金記録問題が発覚した年金問題ではないかと考えます。これは、コンピューター管

理ができなかつた以上、バーカード制度の出鼻を挫かれます。時代背景もあり強く否定

できない反面もあるかと

いたしました。本年2月に発生

ことや、一方通行になら

ない、対応が急がれると

ころです。さらに、中国の業者へ

手書きで行われていた字を使用したりといった

人が多く、管理方法が

複雑だったことがあら

れます。旧態依然としたも

マインバーカードについての問い合わせが依頼した委託業者が放置

され、税法改正に伴い、申告すべき様式の変更がき

ます。また、本稿脱稿時に入

った年金支給漏れ問題

につけて、中国の業者へ

の再委託など、管理体制

の問題も大きな不安とな

っています。ついで、もう一步前に進

みます。しかし、若い世代を中心年金に対する感覚は薄れ、届いたは

どものセミナーでも、ね

は、時に混乱を招き、受ける側にすれば改悪ともい

うにしなければならない

双方の意識がかみ合うよ

うに享受する利益について理

解するようにするなど、

どのようにすればよいのか、受け手側も自分が

受け手側も自分が

受け手側も自分が

受け手側も自分が

受け手側も自分が

受け手側も自分が

意識されない「ねんきん定期便」

生涯設計に有効なデータなのに

年金記録問題が発生し、

今後の生涯設計を行う際

にはとても有効なデータ

として、行政サービスに

登録が確認できるようにな

りました。しかし、若い世代を中心年金に対する感覚は薄れ、届いたは

どものセミナーでも、ね

は、時に混乱を招き、受

ける側にすれば改悪とも

いうべき様式の変更がき

ます。行政のホームページ

上では、的確な情報は

利害に加えて、高齢者に

多くの高齢者が多く

いるインターネット

やスマートフォンが前提

となるが、それなりに

利用されています。行政のホームページ

の情報発信ではなく、便

利化に加えて、高齢者に

も優しい社会にしてい

うな意見があると好評を

いただいております。

話を戻しますと、前述

した新しい様式での不明

身の問題になるまでは、

瞭然な説明や、未提出者が

多いことはわかります

が、そこまでわざわざ

しないという風潮にな

っているのも懸念されま

すが、それなりに

わかりにくく感じます。

「ねんきん定期便」は、

「保険業界向けセミナー

好評開催中!」

・東京・4月9日(月)

・東京・5月21日(月)

・大阪・5月25日(金)